

ICTで校務をDX!

学年	その他	教科 など	校務
----	-----	----------	----

ICTで学校生活を効率よくスマートに!

使用するアプリケーション等

- ・ Google Classroom
- ・ Google Forms
- ・ Google ドキュメント
- ・ 採点ナビ(デジタル採点)
- ・ i Movie

DXする題材 ①新聞・資料作成 ②各種アンケート・振り返り ③テスト採点 ④行事

DXのねらい 今までアナログで行ってきた校務をデジタル化し、教員も生徒も効率よくスマートな学校生活を送る。

ICTを活用することでできること

- ・ Google Classroomにドキュメントを投稿することで、一人一人に課題を与えて提出させたり、新聞や資料、レポートなどを複数人で共同編集させたりすることができる。
- ・ Google Formsを使用することで、アンケートや振り返りを簡単に作成、集計することができる。
- ・ 採点ナビ(デジタル採点ソフト)を使用することで、端末上でテストの採点を行うことができる。
- ・ 行事の準備や運営にICTを活用することで時間短縮、ペーパーレス化、表現力を向上させることができる。

DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

1 新聞・資料作成

- ①ベースのプリントや模造紙(必要に応じて作成例)を準備する。
- ②教員や生徒が撮ってきた写真をPCに取り込み、印刷した写真の中から好きな写真を選ぶ。
- ③レイアウトを考えながら文章を手書きで作成したり、写真を貼り付けたりする。
- ④教員が手書きで下書きを添削し、生徒は添削をもとにして清書を行う。
△紙媒体で新聞や資料を作成する場合、写真の印刷や選択、下書きの添削、清書に時間がかかる。

2 各種アンケート・振り返り

- ①アンケート・振り返り用紙を作成し、印刷したものを配布。その用紙に回答してもらう。
- ②回答結果を手作業でまとめ、おたよりや通信で発行する。
△紙媒体でアンケートや振り返りを作成する場合、用紙の印刷や回答の集計に時間がかかる。

3 テスト採点

- ①テスト終了後、手作業で採点を行う。
- ②評価の観点ごとに小計を出し、そこからさらに計算して合計を出す。
△解答用紙を照らし合わせづらいので、採点基準がずれやすい。
△採点をした後に名簿に点数を入力し、まとめ直さないといけないので作業工程が何段階にもなる。

4 行事

- ①演技や出し物の台本を紙媒体で作成し、音楽をCDで準備をする。
- ②台本をもとに練習を重ね、行事で発表する。
△台本や音楽を個別に用意しなければならないので手間がかかる。
△台本や実行委員会の資料などが紙媒体のため、共同編集をすることができない。

DX!

DX後

1 新聞・資料作成

- ①ベースのドキュメント(必要に応じて作成例)を作成する。
- ②ドキュメントを課題としてClassroomに投稿する。
- ③撮った写真をドライブに保存し、Classroomで共有する。
- ④ドキュメントで記事を書き、写真を貼り付ける。
- ⑤教員が提案モードで生徒の下書きを添削する。
- ⑥生徒は教員の添削をもとにして下書きを書き直す。→清書

- 課題として投稿することで、一人一人にコピーが配布され、進捗状況を確認できる。
- 写真を投稿し、共有することで、自分のタイミングで好きな写真を選べる。
- 添削の際、どこをどう直せばよいか的確に伝えられ、生徒もすぐに直すことができる。

2 各種アンケート・振り返り

- ①Formsでアンケートを作成しClassroomに投稿。そのアンケートに回答してもらう。
- ②回答結果(自動で集計)をおたよりや通信で発行する。

- アンケートをすぐに作成でき、再利用もできるので気軽に投稿しやすい。(教員・生徒ともに)
- 自動的に集計されるので、集計の手間がなくなり、時間短縮になる。

3 テスト採点

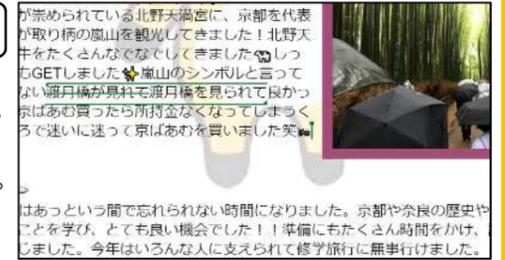
- ①テスト終了後、生徒の解答用紙をスキャナでデータ化する。
- ②採点ナビ(デジタル採点ソフト)で採点する。

- 問題ごとに解答を見比べられるので、採点基準がずれにくい。
- 名簿と紐づけることで名簿に点数が自動的に入力されるので、まとめ直す必要がない。
- 手作業の採点と比べ、大幅に採点時間が短縮される。

4 行事

- ①台本をドキュメントで作成し、Classroomで共有する。
- ②音楽をネットで探し、適切なものを使用する。
- ③練習時には動画を撮り、表現力の向上につなげる。
(動画作品にすることで、行事が規模縮小した場合もオンラインで配信可能。)
- ④実行委員は活動内容や資料をデータとして保存し、共有したり次年度につなげたりする。
- ⑤準備の際は、記録写真をClassroomで共有して各自で見ながら準備を進める。
- ⑥当日は、ドキュメントを見ながら司会をしたり、審査をFormsで行ったり、めくりや発表でスライドを使用したりする。
○ドキュメントで資料を作成することで、共同編集ができ、手直しや引継ぎも容易にできる。
○動画を撮影し、iMovieで編集することで表現力の向上やICT能力の向上をさせることができる。
○準備や当日、いつでも端末1つあれば迅速に対応できる。

添削の例



採点の例



授業者から (成果・課題・留意点)

- データは共同編集できるので、作成途中でより生徒同士の建設的な話し合いが見られ、表現力や発想力の向上につながった。
- 作業工程や手間が圧倒的に少なくなるので、大幅な時間短縮につながった。
- 気軽にアンケートを作成できるので、生徒から意見や質問を発信しやすくなった。
- △ネット環境が不安定だとうまく機能しなかった。また、タイピング力が向上しないと効率があがらなかった。
- △情報モラル教育を定期的に行う必要があると感じた。